

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月26日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871100228		
法人名	有限会社 豊玉		
事業所名	グループホーム さくらんぼ	ユニット名	1号館おもいで館
所在地	〒303-0041 茨城県常総市豊岡町乙3587		
自己評価作成日	平成24年7月19日	評価結果 市町村受理日	平成24年12月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0871100228-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0871100228-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年9月12日	評価確定日	平成24年12月7日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>安全・安心に十分注意して介護。利用者様の個性に合わせた介護。 利用者様も職員も無理なく過ごせる介護を目指している。 職員の人間性の向上（接遇と整理整頓）。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は利用者一人ひとりの生活リズムを大切に考え支援している。 生活リハビリテーションの考えを基に、利用者がそれぞれに有する能力に応じて可能な限り日常生活において自立した生活ができるように支援にあたっている。 利用者が安心して穏やかに過ごせるよう、毎月の職員会議で挨拶や言葉遣いなどの接遇について話し合い、職員の資質向上に力を入れている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	安全安心・個別性を重視の介護丁寧な接遇 実践として個別性を尊重とした全体会議などでの話し合い・挨拶などの復唱	理念を事務所に掲示するとともに、職員会議で職員の認識を深めて共通理解を図っているが、現在の理念は事業所の運営方針の意味合いが強いものとなっており、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念とはなっていない。	利用者の視点に立ち、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念を管理者や職員で話し合い、新しい理念の作成に取り組むことを期待する。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方から画を廊下に掲示して発表や交流 利用者ご家族への事業所訪問機会促し	事業所にはボランティアグループや個人が制作した絵画や絵手紙、俳句の作品が展示されており、利用者は作品展示のために来訪した地域の人々と交流している。 近隣の高齢者が参加できる脳トレーニングの教室を開いており、利用者が地域の人々と交流ができるよう支援している。 小学校の夏休みを利用して親子の介護体験を受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議参加の民生委員さんなどに事業所で勉強会に使用した認知症の人への支援をお渡し。別途勉強会も受け付けしている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	食事内容の助言を生かした食材の導入 身寄りがなくなった利用者さまへの対応など助言相談など	運営推進会議は家族等や市職員、民生委員の参加を得て2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の運営状況を説明しているほか、市職員に事前に投げかけておいた質問事項への回答を得たり、委員と意見交換を行っている。 地域の代表である区長などの参加を得るまでは至っていない。	地域の代表である区長などに運営推進会議への参加を働きかけ、地域の情報を得たり事業所と地域をつなぐ役割を担ってもらうことを提案する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	密には連絡取っていないが、不明点など気軽に担当者と電話などで相談している	管理者は市担当者に事業所の空き状況を報告したり、困難事例の対応について相談をしている。 市担当者とはスプリンクラーの設置を契機に一層の協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全が確保出来ない場合はご家族と相談している。定期的に身体拘束についての勉強会も行っている	身体拘束排除に関する外部研修に職員が参加している。 身体拘束排除に関するマニュアルを作成し、職員は身体拘束にあたる具体的な行為やその弊害について理解している。 帰宅願望の強い利用者がいる関係で安全のため家族等や市の承諾を得て玄関を施錠しているが、解錠に向けて定期的に話し合うまでには至っていない。	玄関の解錠に向けて定期的に話し合うことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県主催の研修に参加およびその研修を内部回覧・勉強会		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	県主催の研修に参加およびその研修を内部回覧・勉強会		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置。毎月の支払時には家族が来館してもらい意見交換している	玄関に意見箱を設置している。管理者や職員は利用者や家族等が何でも話せるような雰囲気づくりに努め、家族等の来訪時には意見や要望を聴きケース記録に記入して共有を図っているが、出た意見等を運営に反映させるまでには至っていない。	利用者や家族等から出た意見等を運営に反映させることを期待する。 次のステップに向け、利用者や家族等の意見や要望を更に汲みあげるため、年1回程度無記名のアンケートを実施することを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営推進委員会で意見交換	月1回代表者や管理者、職員で開催する運営推進委員会は職員が交代で司会を務め、事前に議題を提案して会議を開催している。 会議では夜勤の勤務内容や入浴介助の業務内容などを話し合っ見直すなど、職員から出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	取組をしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期段階専用のフォームを利用して情報収集・関係づくりや対応に用いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時の丁寧な説明と家族への協力依頼を説明して信頼関係構築に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個性の把握とお互いが負担なく過ごせるような関係になるよう対応や介護計画を考え実行している		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	健康維持のための家族対応受診などで関係構築に努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	夜間と食事以外はいつでも面会が出来るようお知らせしている	利用者の親戚や友人の来訪があり、職員は利用者との関係が継続できるよう配慮している。 利用者は家族等の協力を得て馴染みの美容院に出かけている。 職員は利用者が墓参りなどに行けるよう利用者の希望を家族等に伝えたり、自由に電話をかけられるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	支援に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	努めている	職員は日々の会話の中から利用者一人ひとりの思いや暮らしに対する意向を把握し、ケース記録や気付いたことを記録するケアノートに記入して共有を図っている。 意志疎通が困難な利用者に対しては、居室でゆっくり話を聞いてコミュニケーションを図り、思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や個別のバイタルチェックなどで把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	行っている	介護計画は利用者や家族等、訪問診療の医師の意見を参考に作成するとともに定期的に見直しているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は随時見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	取組をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	している	家族等の付き添いで利用前からのかかりつけ医に通院している利用者もいるが、他の利用者は協力医療機関による訪問診療を受診している。 かかりつけ医への受診結果は家族等から報告を受けている。 事業所での訪問診療の結果は変化があればすぐに、変化がなければ面会時に家族等に伝えている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院のドクター・看護師にて相談・支援を行っている		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	取組をしている	「重度化した場合の対応に係わる指針」を作成し、契約時に利用者や家族等に説明するとともに、全利用者から「重度化した場合の確認書」で最期を迎える場所の希望を確認しているが、利用者や家族等の心情の変化に応じて変更が可能となっている。 「重度化した場合、対応手順（マニュアル）」を作成し、利用者が重度化した場合には家族等と話し合い、今後の対応について再度確認することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを掲示。会議で再確認を行っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを掲示。会議で再確認を行っている。近隣の消防署など協力体制依頼している	災害時対応マニュアルを作成するとともに、緊急時の連絡網を整備している。 管理者や職員で開催するミニ会議では防災マニュアルを見直したり、火災発生時の対応手順をシミュレーションして確認しているが、避難訓練を実施するまでには至っていない。 米や缶詰、飲料水、ラジオ、乾電池などを備蓄している。	年2回消防署立会いを含めた避難訓練を計画的に実施することを期待する。 運営推進会議の委員を通して、避難訓練時に地域の人々の協力が得られるよう働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	行っている	プライバシー保護マニュアルを作成するとともに、職員は排泄介助時に利用者のプライバシーに配慮した支援に努めている。 個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかる書架に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行っている			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	支援に努めている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行っている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行っている	事業所で献立を作成し、業者から納入された食材を職員が調理して提供している。 職員は利用者と同じテーブルを囲み食べこぼしや嚥下に注意をしながら楽しく食事ができるよう一緒に食事をしている。 利用者はできる範囲でテーブル拭きや下膳、食器拭きなどを担っている。	次のステップに向け、食事の献立やカロリー計算について、定期的に栄養士のアドバイスを受けることを提案する。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	行っている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	行っている	職員はケース記録で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の動作から排泄のサインを察知して声かけやトイレへ誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	行っている	職員は利用者が1週間に2回以上入浴ができるよう計画を立てているが、利用者の希望を優先した入浴を支援している。 午前中に入浴を実施しているが、入浴を嫌がる利用者には無理強いせず、午後に声かけをして入浴を促したり翌日に入浴ができるよう支援している。 柚子湯を取り入れて季節が感じられるように支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	支援に努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	支援に努めている	日常的に事業所の近隣にある公園に散歩に出かけている。 行事計画を立てて桜見物を支援している。 家族等の協力を得て買い物や外食の機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	支援に努めている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援に努めている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行っている	居間兼食堂は採光も良く清掃も行き届き、整理整頓されている。 居間からウッドデッキに直接出られるようになっている。 利用者がゆっくり休めるよう、居間の一角に大きめのソファを配置している。 廊下には地域の人やボランティアが制作した絵画や押し花、俳句などの作品が飾られ、利用者や来訪者の目を楽しませている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	工夫をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫をしている	居室にはエアコンや洋服箆笥が備え付けられている。 利用者は居室にテレビや机などを持ち込んだり、家族等の写真を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。 家族等の協力を得て季節に合った寝具や洋服の入れ替えを行ったり、居室の整理整頓を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫をしている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームさくらんぼ

作成日 平成24年12月24日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域に根ざした理念	理念を職員間で話合う	全体会議にて地域の意義を踏まえた理念作りの話し合いなど行う	半年
2	3	地域との交流	地域住民との接点増	運営推進会議等への参加依頼	1年
3	6	ご家族希望の把握増	家族等の意見集約	満足度アンケートや会開催	1年
4	13	避難訓練の実施不足	避難訓練実施	避難訓練計画と実施	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。